

# 低濃度PCB廃棄物の対応について


お手元にありませんか？ 変圧器（トランス）コンデンサなど

no.3

## 『PCB処理期限』が迫っています。

※処理期限は、法律（PCB特別措置法施行令第3条）で定められています。

PCB処理期限は  
2027年3月31日  
までです。



【PCB廃棄物に該当【基準値：0.5mg/kg.PCB特措法】】

低濃度PCB該当性判断方法

製造年が1993年製（変圧器など）  
1990年製（コンデンサなど）までの  
機器には含まれている可能性があります。

### 変圧器等（絶縁油採取可能機器）

平成5年(1993年)以前	平成6年(1994年)以降
汚染可能性あり	汚染可能性不明※
停電時に絶縁油を採取してPCB濃度を測定 <sup>注1)</sup>	
※ 保守作業等で絶縁油の交換や継ぎ足しが行われているとPCBに汚染されている可能性あり。 この期間に製造・出荷された機器で絶縁油交換や継ぎ足しが行われたもの、又は不明であれば絶縁油を採取してPCB濃度を測定。	

### コンデンサー（絶縁油封じ切り機器）

平成2年(1990年)以前	平成3年(1991年)以降
汚染可能性あり	汚染可能性なし
廃棄物となったものに穴を開け、 絶縁油を採取してPCB濃度を測定 又は低濃度PCBとみなして処分 <sup>注2)</sup>	

注1) PCBの分析を行う機関は(一社)日本環境測定分析協会のホームページで検索できます。  
[https://www.jemca.or.jp/sys/member\\_list](https://www.jemca.or.jp/sys/member_list)

注2) 絶縁油封じ切り機器や絶縁油の封入量が少量である小型の変圧器等では、確実にPCBが使用された絶縁油に由来するものでないことが銘板情報等から明らかであれば、分析値がなくても低濃度PCB廃棄物として無害化処理事業者に委託して処理することができます。

### 備考

- 米1 富士電機(株)製の一部の機器については、1994年までに出荷された機器にPCB汚染の可能性が残るとされています。
- 米2 ニチコン製のコンデンサについては、2004年3月迄に出荷された機器にPCB汚染の可能性が残るとされています。
- ※3 使用中のものについては、PCB汚染の疑いありとして記録し、廃止後分析を実施することも可能。もしくは低濃度PCB廃棄物とみなして処分すること
- ※4 低濃度PCB廃棄物とみなして処分する場合であっても同様に届出が必要となる。

運搬は【結論から申し上げます、自社での低濃度（微量）PCB廃棄物の運搬は可能ですが、コストが悪いのでお勧めしません。】

2023年

[一般社団法人九州電気管理技術者協会長崎 \(kyunaga.com\)](http://kyunaga.com)